



## 御挨拶

今日は、皆様ようこそ北声会第18回定期演奏会にご来場下さいました。団員一同心から感謝申し上げます。

さて昨年は常任指揮者の千葉了道先生が大病で入院され、思い通りに活動出来ない一年間であり、皆様にも大変ご迷惑をおかけいたしました。

しかし、尚氣は昨年十月末で全快し、以後体力の充実に専念され、本日指揮を執る様に回復されましたことは、私達団員には最高の喜びであり、本日の演奏ではその喜びを皆様にも伝わる様に頑張りたいと思います。

今回の演奏会は千葉先生の新作、森荘巳渡先生作詩の「十一面観音菩薩への賛歌」を中心に、北声会のモットーとしている「地元根ざした活動」ということから、種市町在住の団友、伊藤正利先生の新作で、宮静枝さん作詩の「花と口笛」北声会の顔である佐藤流先生が作曲した、毎年盛岡市で公募選定している「もりわか」の52年度、57年度の曲等、初夏にふさわしく肩の凝らない作品を演奏いたします。

昨年一年間は常任指揮者不在という、北声会にとっては不運と忍耐の一年間でした。しかし、今日は千葉先生の作品を千葉先生の指揮で聴くという最高の日です。

また、この忍耐の一年間を支えて下さったコールMの友情、石川勲子さんのご協力、昨年の定演をきいて、温情あふまるご批評と激励の言葉を寄せていただきました杉中様、その他多くの方々のご友情、ご援助に感謝申し上げます。おそらく来年の定演は全ステージ常任指揮者の指揮と思います。私達はそれを楽しみに、本日の演奏会を出発点として努力する覚悟です。どうぞ皆様方、寛らぬ厳しいご批評と、あたたかいご支援をお願い申し上げます。

最後になり忍断ですが、本日の演奏会にご協力いただきましたコールMの皆様、岩手大学合唱団、旧団員、石川勲子さん、月井盛樹先生、大泉典子さんに感謝を申し上げます。第18回定期演奏会の挨拶といたします。

---

合唱、	北声会合唱団
指揮、	千葉了道、牛越 洵
ピアノ、	石川勲子、月井盛樹
朗読、	大泉典子
賛助出演、	コール、M

# 北声会 18 週年 演

## 千葉了道氏の近作を発表

### 温かみ伝えた北声会公演

千葉了道、牛越柳氏指揮による北声会合唱団の第十八回定期演奏会が、二十五日午後六時半から盛岡市内丸の東馬会館で開かれ、楽しいハーモニを聴かせた。

盛岡放送合唱団を前身とする北声会は、四十二年に創設され、毎年定期演奏会を開いている。

今回の演奏会では、盛岡市に居る「盛岡市」の詩人千葉了道氏が曲をつけた「十一面觀世音菩薩への賛歌」が初演された。「十一面觀世尊」は遠野市松崎町、福泉寺の任職、檀越有然師が、機音像を彫り上げた際、森氏が記念に贈った。

たもの。

曲は、盛岡会場で演六十六歳のピアノ伴奏付き、約九分の「賛歌」を千葉氏の指揮で

高らかに歌い上げた。

演奏会は、このほか温田合唱団曲「風へのいまない二重奏の歌」なりを披露、男性合唱団「フルム」が賛助出演して、おんまりした中に温かい雰囲気を感じられる演奏会となった。



「楽しいハーモニを聴かせた北声会合唱団の定期演奏会」